

環境の全体像

いわゆる「環境」として取り上げられる各環境要素は、生活環境、地球環境、自然環境、社会環境の4つに大きく分類することができる。

生活環境：人間が快適な生活を送るために保全すべき環境

地球環境：人類が地球上で持続可能な発展を続けていくために地球規模で保全すべき環境

自然環境：山・河川・海などの国土や、多様な生物種を保全・創出するべき環境

社会環境：人々の心を豊かにする、美しさやゆとりなどの環境

環境要素

生活環境

沿道の大気汚染(NO_x , PM)

騒音・振動

ヒートアイランド など

自然環境

生物多様性

緑

水辺環境 など

地球環境

地球の温暖化(CO_2)

酸性雨

オゾン層の破壊 など

社会環境

景観

ゆとり・憩い

歴史・文化 など

赤字は、道路環境行政に関連の深い環境要素

道路環境行政の取組みとして検討すべきテーマ

道路環境行政が対応を求められている対策のうち、沿道の大気汚染と地球の温暖化については、問題の改善・解消の兆候が見られず、喫緊の課題である。

問題の改善・解消について、社会の関心が非常に高い。

ことから、道路環境行政においては、これまでの取組みを着実に進めるとともに、従来の考え方にとらわれない、問題の改善・解消に向けた新しい施策に取り組む必要がある。

道路環境行政が対応を求められている環境上の課題

社会の関心が高く、喫緊の課題

沿道の大気汚染対策
(NO_x、PM)

地球温暖化対策
(CO₂)

騒音・振動対策

良好な景観の創出

道路緑化

ヒートアイランド対策

生物多様性の保全

⋮
⋮
⋮

環境上の課題

酸性雨対策

オゾン層破壊対策

森林の保全

砂漠化対策

土壌汚染対策

水質汚染対策

⋮
⋮